水産研究・教育機構 機関リポジトリ
FRA Japan Fisheries Research and Education Agency Institutional Repository

ストロンチウム-90 というのは心配ないの？

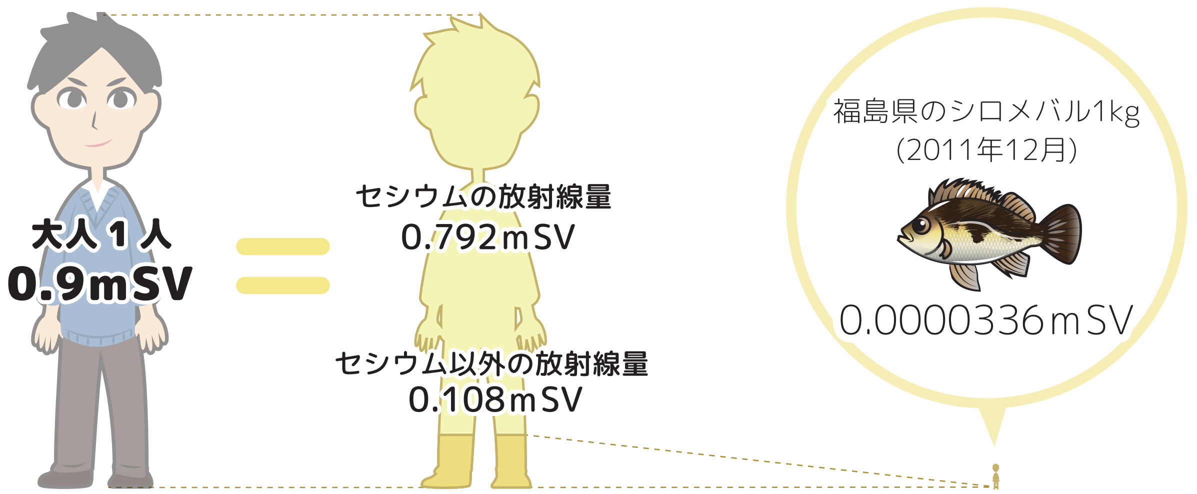
メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産研究・教育機構 公開日: 2025-04-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014014

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution 4.0 International License.

Q. ストロンチウム -90 というのは心配ないの？

A. 問題となるような濃度は検出されていません。

今回の事故では、ストロンチウム-90が大量に原子力発電所の外に出たということはありません。しかし、水産物汚染を心配する人が多いので、水産研究・教育機構では、2011年5月から水産物のストロンチウム-90を測定しています。その結果、問題となるような濃度は検出されていません。(検査結果は、16ページのウェブサイトで公表しています)

厚生労働省により、1年間に一般食品から受ける放射性セシウム以外の放射性物質からの追加放射線量の上限は0.108ミリシーベルト(mSV)とされています。水産研究・教育機構が調べた中で最もストロンチウム-90の濃度が高かったのは、2011年12月に福島県沿岸で採れたシロメバルで、これは1kgほど食べたら0.0000336mSVとなる線量でした。仮にこのシロメバルを毎日1kgずつ1年間食べ続けても上限の0.108mSVの1/10程度なので、ストロンチウム-90は問題になる濃度ではありません。

1年間に一般食品から受ける追加放射線量の上限(厚生労働省)